

第35回(通算2651回) 例会記録 2015年3月18日(水)

- 司会進行/ 大城 文博
- ロータリーソング/奉仕の理想・四つのテスト
- ゲスト/赤津 洋一氏(石垣海上保安部部長)
- メイクアップ/上原晃子・池城貞光・小林昌道
(計3名)

出席報告

会 員 総 数	36名
出席義務会員	35名
出 席 数	21名
欠 席 数	14名
出 席 率	60.00%
通算出席率(3月)	62.86%

本日のニコニコ

	収入	累計
ニコニコBox	¥1,000	¥132,000
コインBox	¥4,880	¥78,111
合 計	¥5,880	¥210,111

☺ タバコやめました。(白道 直行)

会長あいさつ:上原 秀政



産経新聞をネットで見ていたらゴルフの話題がありました。欧米ではゴルフ人口が減っているらしくて、ゴルフを盛り上げる策として、カップの大きさを4倍くらいにする動きがあるらしいです。ゴルフのカップは10.8 cmくらいの大きさで、ゴルフの発祥の地であるスコットランドのセントアンドリュースで、120年前にやった時に、最初は穴を掘って木を刺しこんで旗のようにやったらしいんですが、ゴルフ場を作る整備の方が排水に使う排水管が適当な大きさがあったので、それを穴に埋め込んでそれがカップになったと、その時の大きさが10.8 cm、それがずっと続いてきました。それが変更もなく続いてきたというのは微

妙な大きさで、グリーンに入ってから、すぐわくわくするような場面、状況を作り出して、ここまでゴルフが盛んになってきたと思います。新しい試みとして、約4倍の大きさ、バーディーが面白いように取れるらしいです。グリーンに乗ったら2パットで入るんじゃないでしょうか。良いか悪いかは別にして、ぜひやってみてみたい気がします。グリーンに乗って2パットくらいで入れば、すごく楽しいんじゃないかなという気がします。

本日は海上保安部長、赤津部長においで頂いていますが、私も去年の3月までは海上保安庁の嘱託医をやっています、機会毎にお会いして職員の健康の問題とか、話を聞いたりして、よく知っています。たぶん今日お話される新しい船には乗ったことないんですが、2年くらい前に海上保安庁の訓練の時に巡視船に添乗させてもらって、洋上の救急の訓練に参加しましたが、そういう話を含めて赤津部長に話してもらえると嬉しいです、期待しています。

幹事報告:白道 直行

1. 創立40周年記念式典祝賀会ご臨席へのお礼という事で那覇南RC田畑会長からお礼の文書が届いております。
2. 前々回皆さんにお話しましたが、水野正人氏による特別講演「東京オリンピック・パラリンピックを迎えるにあたって」という事で、現在石垣RCから2名の参加希望がありまして、3月31日締切ですので、他に希望があれば私か事務局までご連絡ください。また、ロータリープレゼンツについて寄付依頼がきていますので、やるのかやらないのか、額についてどうするのか理事会を開くわけにはいきませんので、私と会長で決めさせていただきますと思います。

ゲスト卓話:赤津 洋一氏

石垣海上保安部 部長

テーマ「八重山における海上保安業務」

本日はお招きいただきまして、誠にありがとうございます。上原先生は先ほど話がありました

が、我々の囑託の先生をやって頂いて、いろいろお世話にいましたが、ロータリークラブの会長とは存じ上げませんでした。

今日は尖閣の件も含めて現在の石垣海上保安部の状況について、お話をさせて頂きたいと思えます。海上保安庁は全国を十一の管区に分けていまして、沖縄県は第十一管区海上保安本部になります。

業務内容をご説明します。昨年11月7日に「かびら」が三菱重工の下関造船所で就役をいたしました。尖閣諸島の領海警備に専従する専従船の3番目に就役した船でございます、現在既に石垣港に入っております。



昭和47年に沖縄県が本土復帰をいたしますが、その時には第十一管区海上保安本部と石垣海上保安部のみが置かれておりました。長い間管区本部が保安部の機能を兼務するという変則的な運用を続けてきました。それが平成20年4月1日に大東島を含む海域ですが、名護市辺野古のキャンプシュワブの海上警備を強化するために中城に保安部が置かれました。そして、なかなか財務省が認めてくれなかったんですが、尖閣諸島の領海警備を強化する必要があるという事で、平成25年5月16日に那覇に念願でありました海上保安部が置かれました。これで他の管区本部と同様の体制ができるようになりました。石垣海上保安部の担任水域ですが、東側は石垣海上保安部の下部組織、宮古島に海上保安署を置いて業務を分担して担当しています。石垣は那覇から400キロ、東京から2,000キロ離れた保安部の最南西端の部署という事で、東西で約430キロ、南北で330キロの海域を担当水域としております。ちなみに海上保安部の航空基地が2つあります。那覇空港に那覇航空基地、石垣空港に石垣航空基地というのがございますが、これは本部直属の組織ということになります。石垣海上保安部の下部組織ではなくて、本部が直接運用しています。管内には宮古島市、石垣市、竹富町と与那国町、多良間村があって2市2町1村、総人口が約11万という所を担

任水域としております。

次に尖閣諸島ですが、石垣から170キロ、台湾の北端から170キロという等距離にあります。那覇から410キロ、中国大陸の一番近い所、福建省あたりだと思えますが330キロ、上海から650キロ、香港からちょうど1000キロぐらいの距離になります。平成24年9月11日、国が尖閣三島を保有したと言っています。これは海上保安庁による尖閣三島の取得保有なんです。尖閣三島というのは魚釣島、久場島、大正島じゃないんです。魚釣島と南小島、北小島この三つを平成24年9月11日に海上保安庁が取得保有したという事なんです。それ以前はどうだったかという、栗原さんという埼玉県に住んでいる方が持っていました。これを国が買い上げて、所有は海上保安庁にしたという事です。大正島は元々国有地で、今は財務省が取得保有をしています。久場島だけは未だに栗原一族が所有しています。ですから国有化したとって、今さら中国が騒ぐ話ではないと思えます。

石垣海上保安部はこれから体制整備という事で船が増えていきますが、これまでの大型の巡視船をご紹介したいと思います。「はてるま」「いしがき」「よなくに」という大型の巡視船が3隻配属されています。PL(Patrol Vessel Large)は大型巡視船という意味です。総トン数が1300トンくらいありまして、全長が89m、80mmキャノン砲を1つ持っています。スピードが27ノット以上という、普通舵が付いてプロペラが回って進むんですが、これはプロペラも舵を付けていません。水流を急速に吸い込んで勢いよく吐き出すと、その勢いで走っています。それが4つ付いていますが、その水流を吐き出す口、バケットというんですが、バケットが左右に傾くんです。それによって方向を変えます。軽合金製で非常に軽くつくられていますので、その分非常に揺れます。

それからPS(Patrol Vessel Small)「みずき」という船があります。PSは小型巡視船という意味ですが、180トン型と言われる船です。乗組員が15人~16人という小さい船です。この船は平成22年9月7日、閩晋漁(ミンソウヨウ)という中国漁船が巡視船「よなくに」の左舷側に衝突して逃

走を計った所、「みずき」が追跡して並走していたところを急転回してぶつかってきたという、皆さんご存知のようにこれがユーチューブに流出して、その後海上保安庁は大変な事になったんですけど、その時の船が「みずき」です。もう1つ「みずき」は平成13年12月に奄美大島の沖で北朝鮮の武装工作船と打ち合いになりました。その時に射撃をしたのがこの船なんです。この船は元々福岡に配属されていて、「みずき」というのは福岡の地方にある名前です。普通配属変えになると配属変えた場所の名前に変わるんですが、この船は活躍が著しいので名前は変えないでおこうという事で、未だに「みずき」という名前です。

その他に30m型と呼ばれる巡視艇があります。これに潜水士4人乗って、救難活動などに活躍しています。海上保安庁が保有している巡視船艇の中で一番小さい、20m型と呼ばれる5人で動かす船があります。浅い石西礁湖にも入れますので、沿岸域の警備救難に活躍をしています。宮古島海上保安署の船として、尖閣諸島の領海警備を強化するために25年8月に広島県の呉市に所属していた船を配属変えをしまして、PM（中型巡視船）「みやこ」、それから、さきほどの「みずき」と同じ型の船「のぼる」、「やえづき」と言いまして、これは30m型の船があります。

次に平成24年の9・11以降の中国工船に対応するために海上保安庁では体制整備を進めています。石垣が尖閣諸島に一番近いですから、この石垣に体制を整備するという事で、今着々と進めています。内容ですが、3000トン以上あって後ろに格納庫が付いていて、ヘリコプターを積んでいるんです。老朽化した2隻の船を近代化工事、改修工事をしまして、それが終わって、今那覇にいます。もう1隻「りゅうきゅう」という、同タイプの船で新型の船があるんですが、全部で3隻、那覇にいます。それと新しいタイプの1000トン型、1000トン型と言っても、約1500トンと言っていますけど、ヘリは積んでいませんが、10隻整備することをしています。10隻は全て石垣海上保安部の所属にする予定です。常時5隻程度で徘徊する中国工船に適切に対応するために大型巡視

船14隻相当、なんで14隻相当かという、PL型、石垣に配属される1000トンは10隻ですけど、初めてやるんですけど、巡視船の稼働効率を上げるために、普通は船というのは1隻に1つの乗組員しかいません。海で行動して来て戻って来たら、乗組員を休ませなければいけません。だけど船そのものの稼働率が落ちるので、帰って来て、乗組員が休んでいる間に別の乗組員が乗って動かす、こういう事をやろうとしています。3隻で4つの乗組員。これを2セット作ります。6隻で8隻分、全部で10隻造りますから、10隻で12隻分の働きをさせる。大きい船をプラスして14隻相当という言い方をしています。

昨年10月に就役して石垣港に入港してきた専従船1000トン型の1番船と2番船、「たけとみ」「なぐら」です。今すでに活躍をしております。長さが96m、かなり大型の船です。船首には放水銃と20m

機関砲が付いています。つい先日4番船PL84「ざんぱ」が入港して来まして、明後日ホテルみやひらで就役式をやるかと思っています。以下あと6隻なんですけど、来年中に全て就役します。気が付くと思いますが、「たけとみ」「なぐら」「かびら」、で「ざんぱ」沖縄本島ですね。その後「たらま」「いけま」「いらぶ」これは宮古島由来です。そして「とかしき」「あぐに」「いぜな」沖縄本島です。私は本部長に対して全部八重山の名前を付けてくれと、強く主張したんですけど、通らなくて沖縄本島の名前がついてしまったんですけど、「たけとみ」「なぐら」「かびら」という3隻は4つのクルーで回します。それから「ざんぱ」「とかしき」「あぐに」「いぜな」という沖縄本島の名前は単クルーと言いまして、クルーを交代しません。「たらま」「いけま」「いらぶ」宮古島由来の名前は4つのクルーで回す。船名を聞いたらどんなタイプの船か分かるようにしたいという事です。業務概要の説明ですけど、中国工船1隻に対し



て絶えずこちらも1隻、マンツーマンで張り付いている対応をとっています。ただ向こうが3隻だと巡視船も3隻かという事ではありません。広いですから接続水域まで入れると尖閣諸島周辺海域の広さは四国くらいになります。向こうが3隻いたら1隻ずつ付くんですけど、その他の場所もガードしないといけませんので、複数隻の巡視船が常時いるという事になります。警備上観点から何隻かはお知らせできません。

平成25年の8月15日、国有化するひと月前の事件ですが、香港にある領有権主張活動家7名が魚釣島に上陸を目指して来ました。巡視船は接近しないように進路規制をやるんですけど、放水したり船体を横切ったり、最終的には船を接触させたり、いろんな事をやったんですけど、結局魚釣島に接触してしましまして、活動家が上陸してしまう。事前に海保が待ち受けていて、上陸した中国人を入管法違反で逮捕するという事案がありました。その後、これが逃げるんですけど、逃げてる途中で巡視船2隻で挟み込んで海上保安部が飛び乗って、ソーダ室に行って船を止めて、これをだ捕しました。

国有化した後9月25日、台湾の漁船が40隻くらい魚釣島を目指してやってきたんです。これは特異だったのは、その周辺を8隻の台湾の巡防署、巡防署というのは海上保安庁みたいな組織なんですけど、その巡視船が40隻の台湾漁船をガードするように魚釣島に向かって来たんです。領海線を突破して中に入ってきましたので、我々は阻止すべく、目の前を横切ったり、放水したり、漁船を行かせないようにしたんです。結局彼らは上陸をあきらめて、魚釣島にそんなに近づけなかったです。こういった活動が行われています。実は尖閣だけじゃないんです。去年10月に中国の珊瑚漁船が200隻以上、小笠原の海に集まって大変な問題になりました。中国の珊瑚漁船の問題は今に始まった事ではなくて、以前からしばしば来ていたんです。北緯27度よりも南の海域、以南水域と呼んで、日中漁業協定と言って、中国漁船が操業できる海域なんです。ですから明らかに我が国のEEZ排他的経済水域ですけど、中国漁船の操業を認めているんです。で、中国の珊瑚漁

船はこの辺に集まっていたり、あるいは尖閣諸島周辺だったり、いろんな所に出没してますけど、時々このラインから南に下がって来るんです。良い珊瑚が取れる場所があるらしいんです。もちろん違法ですから、珊瑚を密猟している船が時々見つかりまして、宮古島の巡視船が急行してだ捕すると、昨年これが3隻、2月と3月と11月にだ捕しています。もう1つ韓国の漁船がここに来て操業することがあるんです。中国の漁船については日中漁業協定上認めています。韓国については認めていないんです。我が国のEEZで操業しているのを海上保安庁の航空機が発見して、巡視船を急行させてだ捕するということがあります。これからも引き続き注意をしないとイケない海域です。

古い事件になりますが、平成16年7月に覚せい剤98キロが押収されています。西表島の南西、領海のやや外側でした。領海内であれば捕まえるのですが、外側で巡視船が行った時には既に海に捨てられていたんです。たまたま通りかかった水産庁の監視船が拾って、白い粉があるというので、巡視船が行って調べたら覚せい剤反応が出たという事で、まだ近くに台湾漁船がいたので領海外なので捕まえられないのですが、確保して逃げられないようにして、台湾当局に引き渡しました。

平成12年、ヨットゆうゆうの事件、有名な事件なんですけど、拳銃を密輸入しようとした日本人2人が飛行機でフィリピンへ行って、拳銃を買い付けてフィリピンのどこかに隠匿して、飛行機で帰ってきたんです。石垣にヨットを持っていてそのヨットでフィリピンまで行って、拳銃を掘り出してヨットに乗せて石垣に戻って来たんです。ところが海上保安部は早くからヨットの動きがおかしいと言うので、気が付いていましたので、そろそろ来るんじゃないかと、名蔵の沖合をパトロールしていたらヨットが見つかったんです。接近したら何かを捨てたというので、拾い上げて見たら拳銃が85丁、玉が1107発見つかったんです。その時は船長がボートでヨットから降りて、岬に上陸して逃げたので、山狩りをして逮捕したという事件でした。

後はマリンレジャーの事故対応、事故防止をや

っています。事故防止だけでなく、実際に海難救助の訓練もやっています。あと石西礁湖に立っている灯標とか灯台なども海上保安部の管理になっています。

非常に駆け足で終わりましたが、25年4月1日にこちらに赴任してまいりまして2年になります。4月1日からは鹿児島にありますが第十管区海上保安部に移動することになりました。皆様にはいろいろとご協力を頂きまして、ありがとうございました。

- 3月26日 台北大同 RC31 周年記念式典
大浜一郎・大濱達也・大浜勇人
宮良榮子・奥平まゆみ(6名参加)
- 4月3日 水野正人氏特別講演会
仁開一夫・大濱達也・奥平まゆみ
奥平崇史(4名参加)
- 4月8日 地区研修協議会(次年度)
新 賢次・宮良 薫・前木繁孝
仁開一夫・南波正幸・池城貞光
奥平まゆみ(7名参加)

～例会風景～



伊盛さんお久しぶりです～

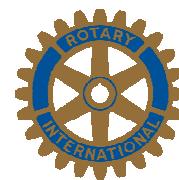


卓話の記念に
バナーを贈呈



2015年(平成27年)3月25日(水) 第36回 例会(通算2652)

国際ロータリー第2580地区



THE ISHIGAKI ROTARY

(今月のロータリーレート 1ドル**118**円) **WEEKLY REPORT No. 2549**



国際ロータリー会長テーマ
ロータリーに輝きを
Light Up Rotary
ゲイリーC. K. ホアン

石垣ロータリークラブ会長テーマ

真・善・美

2014-15 年度会長 上原 秀政

創立記念日 1962年3月12日 (54周年)



●キミスジ(タテハチョウ科)

いしがきじまでは3年ほど前から見られるようになった新しい蝶である。山地帯の樹林の高い所をゆっくりと舞っている。表は黄色い帯が三本あり、南国のミスジチョウのような感じである。

例会日 水曜日 12:30～13:30
 例会場 ホテル日航八重山(0980)83-3311
 事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4
 TEL/FAX 0980-83-2917
 URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>
 E-mail ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp

会 長 : 上 原 秀 政
 副 会 長 : 新 賢 次
 幹 事 : 白 道 直 行
 副 幹 事 : 宮 良 薫
 S A A ・ 出 席 : 渡 久 地 明
 情 報 ・ 会 報 : 玉 城 守 雄